

2024年3月期
第2四半期
決算補足説明資料

2023年11月13日

地盤ネットホールディングス株式会社
(証券コード：6072 東証グロース)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	Q2	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
売上高	1,184	100.0%	972	100.0%	△211	△17.9%
売上総利益	435	36.8%	415	42.8%	△19	△4.6%
販管費	426	36.0%	444	45.7%	+18	4.3%
営業利益	9	0.8%	△28	△3.0%	△38	－%
経常利益	8	0.7%	△35	△3.6%	△43	－%
純利益	△5	△0.5%	△60	△6.2%	△54	－%

- 売上高
売上総利益
- ： 前第2四半期はJIBANGOO事業の大型案件／買取再販実績があり、当期から請負工事を止めて設計監理や案件紹介を中心に取組んでいるため売上高が減少しているが、売上総利益率は改善している。しかしながら、BIM Solution事業の先行投資部分もあり、売上総利益額は減少。
- 利益
- ： 営業利益・経常利益は売上総利益の減少・販管費の増加に伴い減少。
純利益は、繰延税金資産の取崩により法人税等調整額21百万円を計上したことにより減少。

2. セグメント別売上高（内部取引控除後）

（単位：百万円）

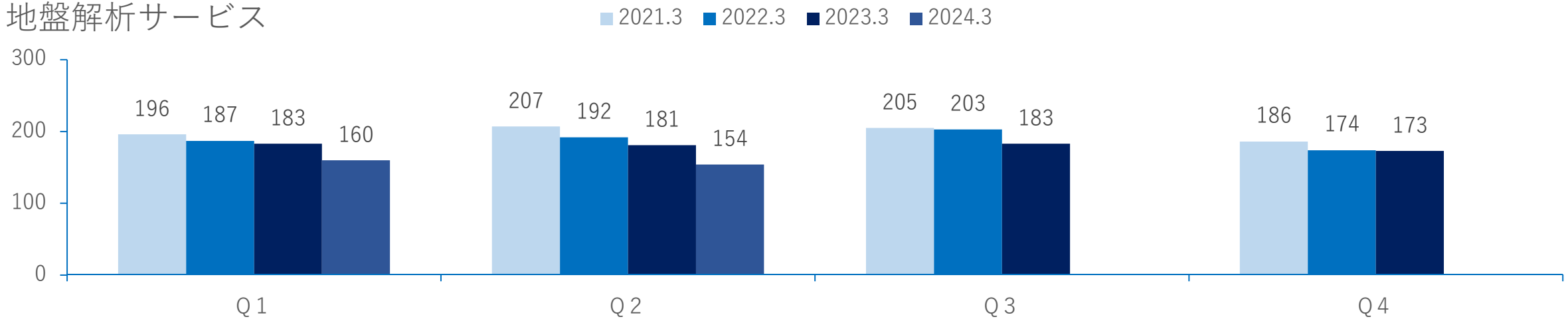
	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	Q2	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
地盤解析	364	30.7%	315	32.4%	△48	△13.4%
地盤調査	283	24.0%	273	28.1%	△10	△3.8%
部分転圧工事	126	10.7%	131	13.5%	+4	3.7%
その他	58	4.9%	86	8.9%	+27	47.4%
地盤事業	833	70.3%	805	82.8%	△27	△3.3%
BIM Solution 事業	122	10.3%	122	12.6%	+0	0.1%
JIBANGO事業	229	19.4%	44	4.6%	△184	△80.4%
合計	1,184	100.0%	972	100.0%	△211	△17.9%

※1 その他：調査機器やFC加盟料・ロイヤリティ収入、地盤安心マップPRO等の売上

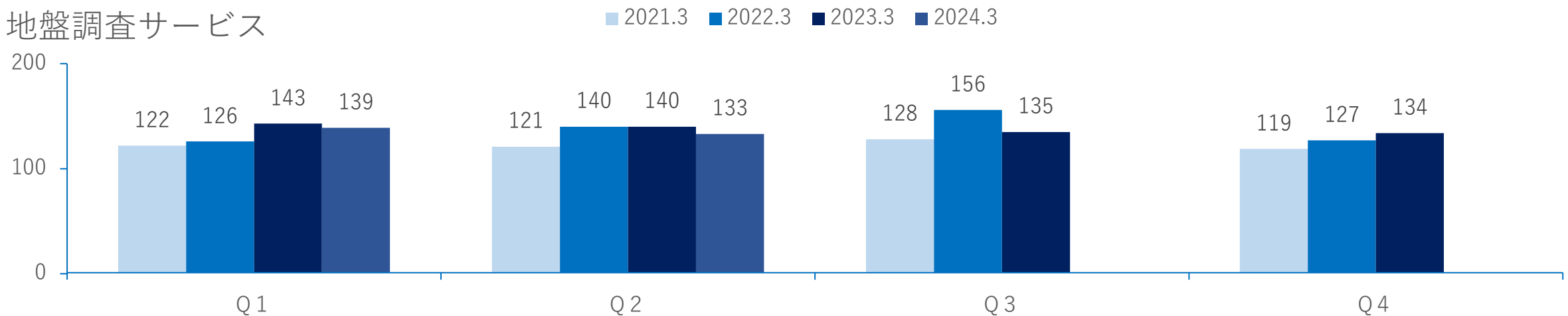
※2 BIM Solution事業＝BIM/BCPOサービス、JIBANGO事業＝住宅関連サービス

3. サービス別四半期別 売上高推移① (単位：百万円)

地盤解析サービス



地盤調査サービス



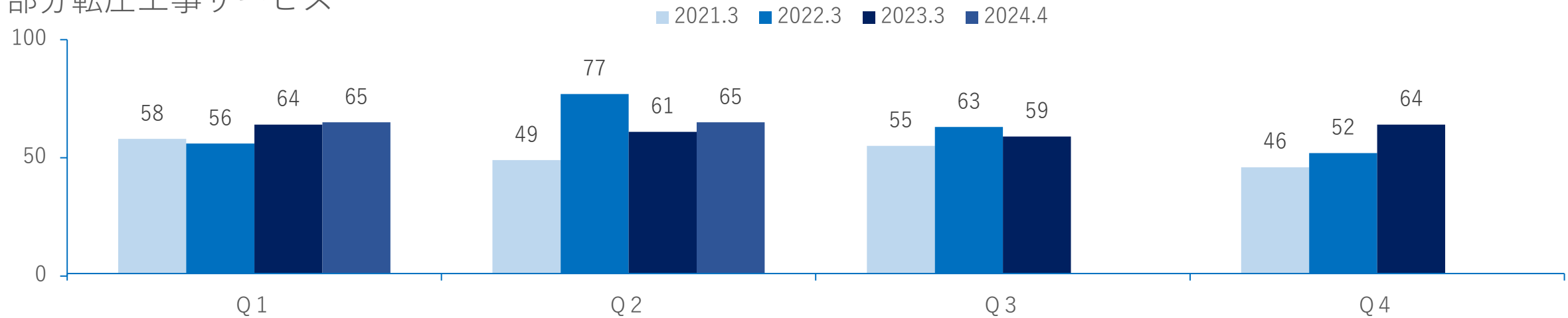
地盤解析・地盤調査：

当第2四半期の新設住宅着工戸数は前期同期比8.9%減と依然として厳しい環境。

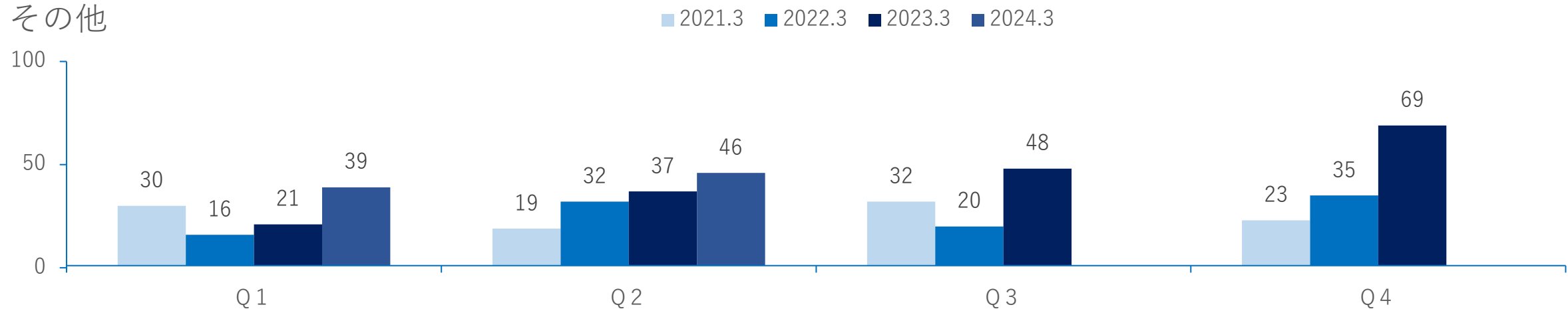
地盤解析は前年同期比で△26百万円、地盤調査は△6百万円。

3. サービス別四半期別 売上高推移② (単位：百万円)

部分転圧工事サービス



その他

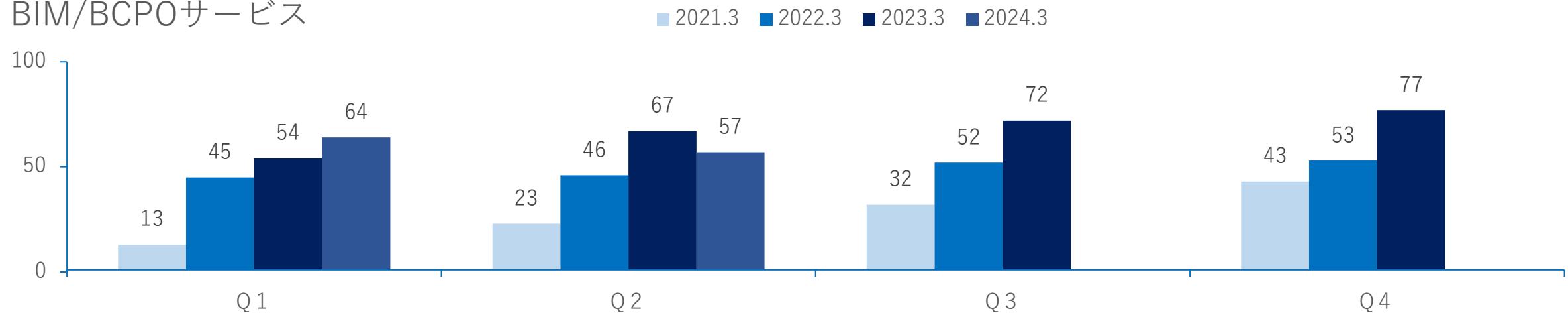


部分転圧工事：判定結果による前後はあるが、60百万円前後で推移。

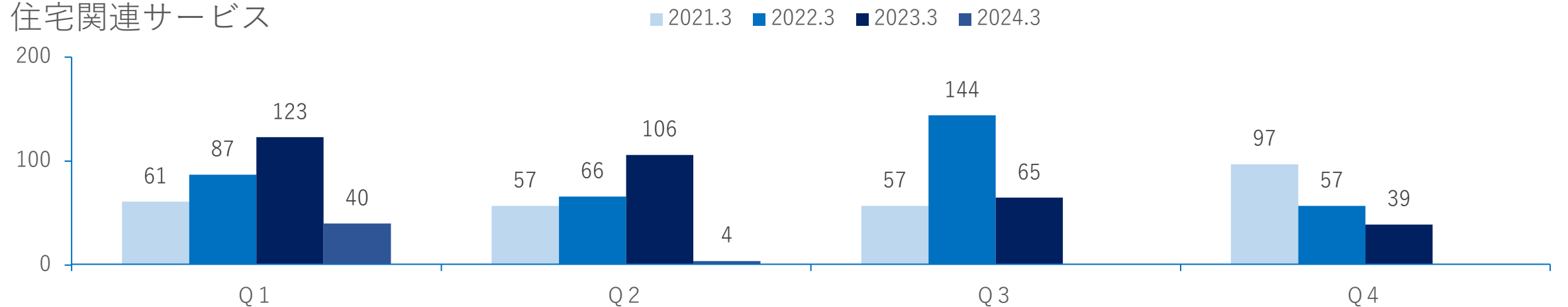
その他：当期より、当社グループの独自基準に賛同いただいた工事業者に、改良工事が必要と判断された案件を紹介するサービスを開始。当第2四半期では17百万円計上。

3. サービス別四半期別 売上高推移③ (単位：百万円)

BIM/BCPOサービス



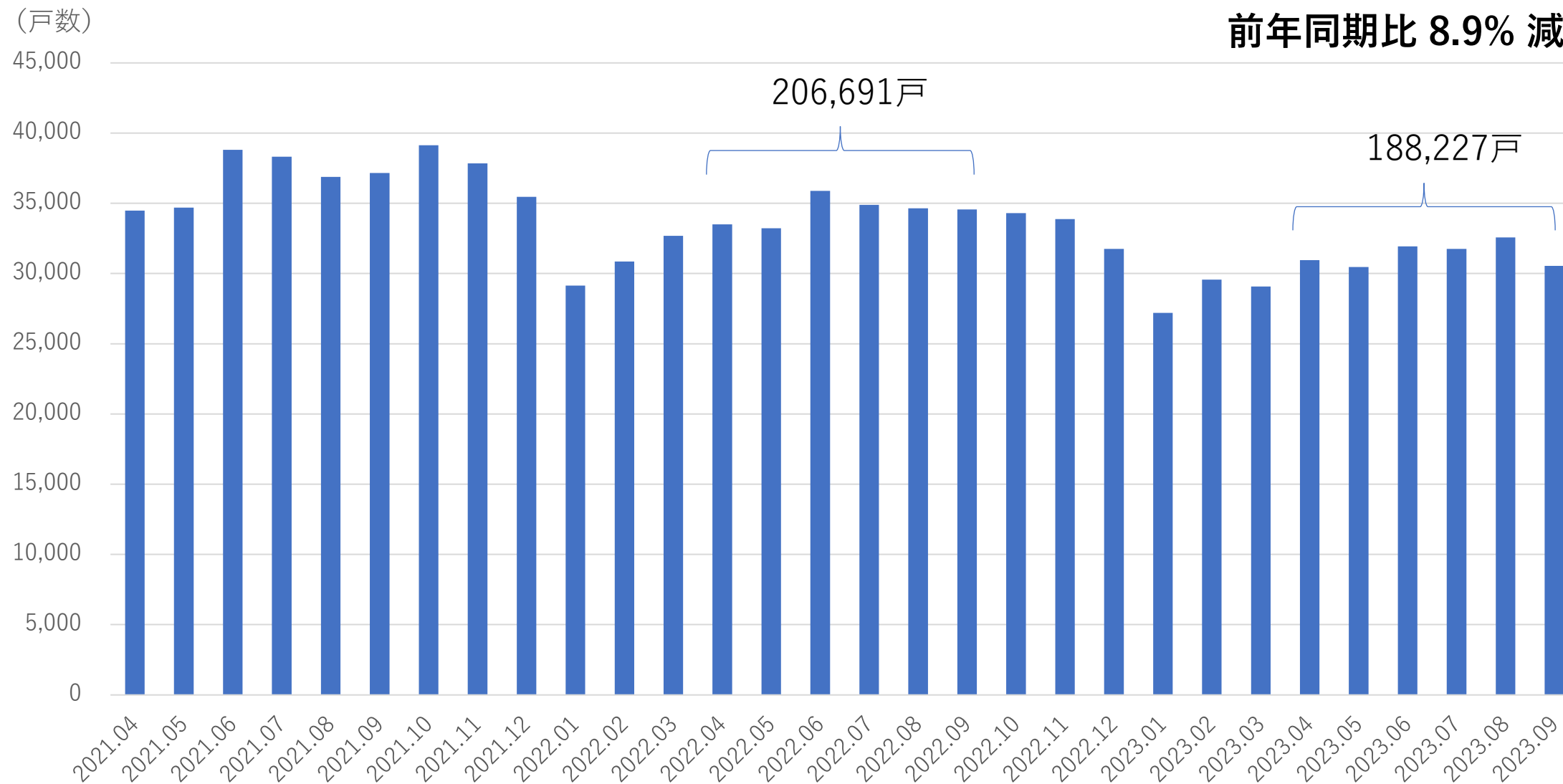
住宅関連サービス



BIM/BCPO：前年同期比△10百万円。資材・人件費高騰の影響で、販促ツールとしても活用されていた
 パース・ウォークスルー動画の受注減少。

住宅関連：当期から設計監理や案件の紹介を中心に取組んでいるため、売上高は減少している。

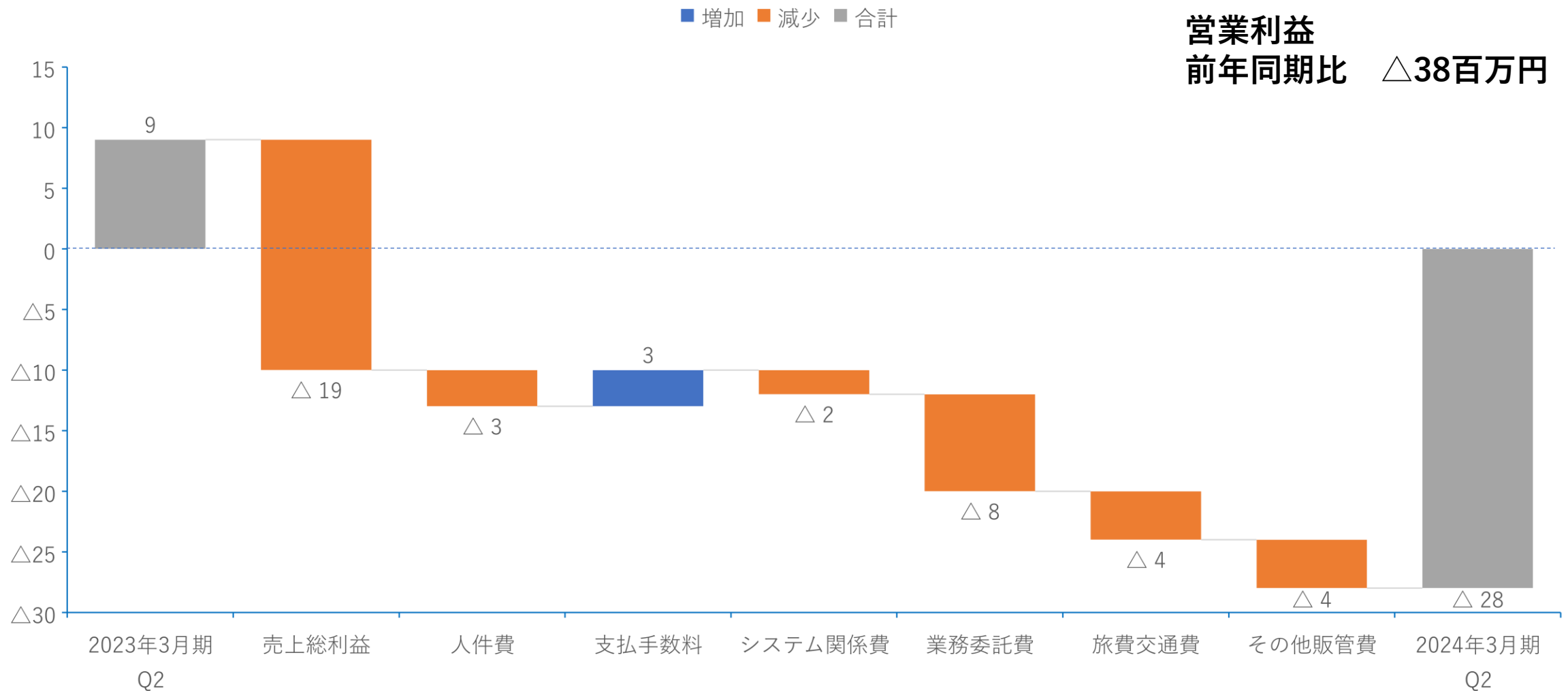
4. (参考資料) 新設住宅着工戸数 推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

※当社グループの事業領域である持家、分譲住宅（一戸建て）を合算して、新設住宅着工戸数としております。

5. 営業利益 増減要因 (単位：百万円)



売上総利益の減少 (P.2参照) により営業利益も減少。販管費は前年比+18百万円。

6. 2024年3月期 第2四半期 連結貸借対照表 (単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前期末比	
	期末	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
流動資産	1,695	92.7%	1,578	92.0%	△117	△6.9%
有形固定資産	24	1.3%	30	1.8%	+6	25.2%
無形固定資産	47	2.6%	52	3.0%	+4	10.4%
投資その他の資産	62	3.4%	54	3.2%	△7	△12.1%
固定資産計	134	7.3%	137	8.0%	+3	2.7%
資産合計	1,829	100.0%	1,715	100.0%	△113	△6.2%
流動負債	296	16.2%	256	15.0%	△39	△13.4%
固定負債	211	11.5%	166	9.7%	△44	△21.1%
負債合計	507	27.7%	423	24.7%	△84	△16.6%
株主資本	1,309	71.6%	1,276	74.3%	△33	△2.6%
その他の包括利益累計額	12	0.7%	16	1.0%	+4	35.5%
純資産合計	1,321	72.3%	1,292	75.3%	△29	△2.2%
負債・純資産合計	1,829	100.0%	1,715	100.0%	△113	△6.2%

流動資産：現金及び預金△25百万円、売掛金△46百万円、立替金△40百万円

固定資産：工具、器具及び備品+11百万円、長期前払費用+15百万円、繰延税金資産△21百万円

流動負債：未払金△12百万円、未払法人税等△28百万円

固定負債：長期借入金△39百万円（短期へ振替）

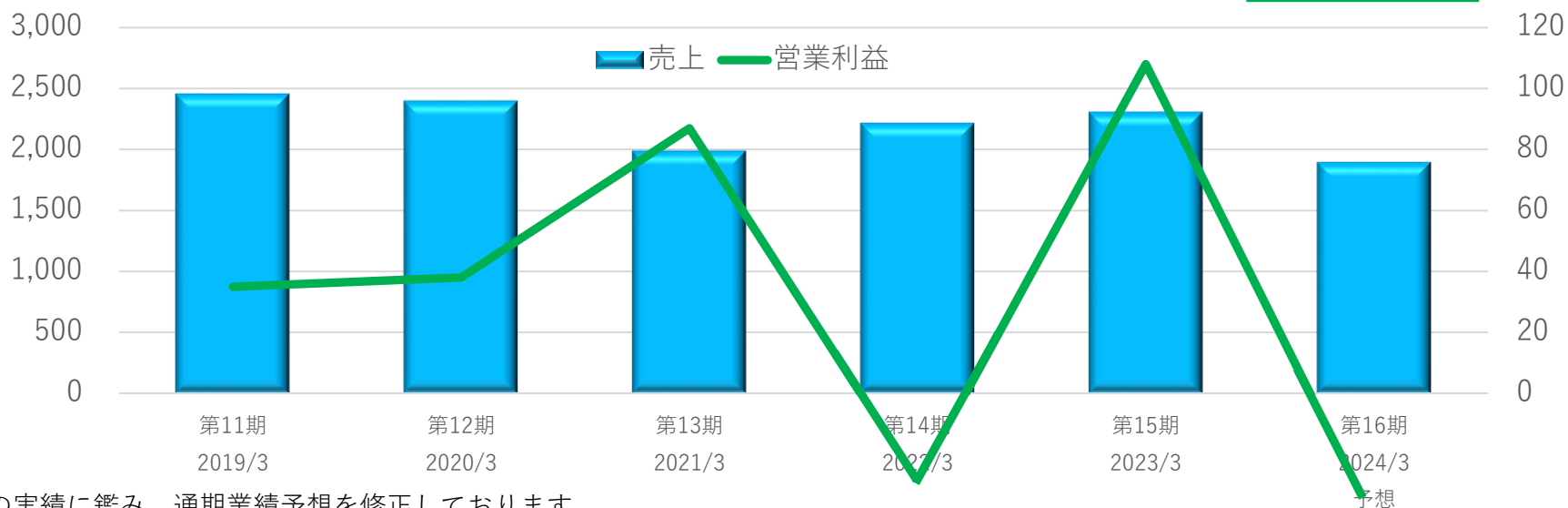
純資産：四半期純損失△60百万円、自己株式の減少+37百万円

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比
	Q2	Q2	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	22	0	△21
投資活動による キャッシュ・フロー	5	△30	△35
財務活動による キャッシュ・フロー	△0	—	+0
現金及び現金同等物の 期末残高	952	1,046	+93

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失35百万円を計上しているものの、小計では30百万円と前年同期と同程度。法人税等の支払が前年より21百万円増加したため、その分、前年同期比では減少している。投資活動によるキャッシュ・フローは、BIM関連のPCやソフトウェアの購入により、32百万円の支出が発生。前年同期比で資金増加の要因は、2023年3月期通期の営業活動によるキャッシュフローが146百万円あったため。

7. 直近5期間の連結業績推移 と 2024年3月期 通期業績予想 (単位：百万円)

	第11期 2019/3	第12期 2020/3	第13期 2021/3	第14期 2022/3	第15期 2023/3	第16期 2024/3 予想 ※
売上高	2,455	2,398	1,989	2,216	2,308	1,895
営業利益	35	38	87	△29	108	△42
経常利益	34	44	91	△28	101	△53
純利益	17	△108	△33	△46	73	△86



※第2四半期の実績に鑑み、通期業績予想を修正しております。

詳しくは、本日開示しております『第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ』をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2023年11月13日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。